

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	外国語Ⅱ（中国語）						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	金 小賢						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	中国語の基礎表現を固め、多様な会話パターンを運用できることを目指す。実践力ある会話述を磨き、自分の言葉で自分の発想を表現する力を身に付ける。HSK中国語検定を視野に語彙と基本文型を増やし、聴解力を高める。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	春休みの宿題の解説/HSK2級検定の心構え					
	3～4	会話文における形容詞の聞き方/話し方のポイント			① 発音のイントネーションが分かる		
	5～6	会話文における動詞の聞き方/話し方のポイント			② 聴くポイントが分かる		
	7～10	多様な会話パターンに応じ語彙を聞き出す訓練（1）			③ 自分の言葉で自分の気持ちを表現		
	11～14	多様な会話パターンに応じ語彙を聞き出す訓練（2）			④ 言葉の抑揚が分かる		
	15～18	長文会話の実践で各自の話し方の癖を見直す			⑤ 話す自信がつく		
	17～18	HSK2級検定練習・小テスト			⑥ 間違い易い話し方が分かる		
	19～20	会話文作文の作り方と心構え			⑦ オリジナル会話文が作れる		
	21～22	自由会話作文（静岡の自然について）			⑧ 単語の多様性が理解できる		
	23～24	自由会話作文（静岡の観光スポットについて）			⑨ 人に教える立場で話せる		
	25～26	自由会話作文（静岡の食について）			⑩ スマホを活かしての独学法がわかる		
	27～28	会話時のスピードと間の置き方の訓練					
	29～30	総まとめ					
成績評価方法	科目修了試験結果（50%）課題提出（30%）平常点（20%）						
使用テキスト ／教材	中国語検定HSK公式過去問集3級、講師配布プリント						
関連科目	外国語Ⅱ（中国語）						
その他	毎日テキストの会話文を3セット書き写し、10分間朗読する。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	外国語Ⅱ（韓国語）						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	鄭 泰元						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・初級文法を使い、基本的な日常会話ができる。 ・過去形を用い、いつどこで何をしたかの文章が作れる。 ・接客に必要な表現を場面別に習得する。 						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="radio"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	・1年次の復習、疑問詞のまとめ					
	3～6	・用言の叙述形（現在形と過去形）まとめ、漢数字			① ホテル・空港などで使う基本表現を覚える		
	7～10	・並列接続語尾、逆説接続語尾、意思語、接客韓国語（ホテル案内1）			② 道を教える表現を学ぶ		
	11～12	・接客韓国語（ホテル案内2）			③ 綺麗な発音と抑揚を身に着ける		
	13～14	・固有数詞の使い方、接客韓国語（ホテル案内3）			④ 基本表現～です、～でした、～ます、～ましたの活用を応用できる		
	15～18	・前期内容のまとめ、中間テスト			⑤ 漢数字、固有数字を覚える		
	19～20	・尊敬語尾（叙述形、指示形）、接客韓国語（飲食店1）			⑥ 間接引用文の活用		
	21～22	・目的（～ようと、～しに）、接客韓国語（飲食店2）			⑦ ビジネス場面での尊敬表現を正しく言える		
	23～24	・～する前に、～した後で、勧誘表現、理由接続語尾、接客韓国語（飲食店3）					
	25～26	・勧誘文、否定文、意思や予定を表す文型練習、					
	27～28	・進行形、可能形の文型練習					
	29～30	・不規則用言、接続詞のまとめ					
成績評価方法	平常点（30%） 中間テスト（20%） 科目終了試験（50%）						
使用テキスト ／教材	NEWカナダ初級、プリント資料						
関連科目	外国語Ⅰ						
その他	語学は予習と復習が必ず必要です。 また、授業中講師とことばが通じるという喜びを感じるよう、積極的な教室活動(言葉のやり取り)を期待します。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	国際ビジネス応用						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	深澤 さとみ						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	通関ビジネス実務検定を受験し、合格する知識を身に着ける						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・通関ビジネス実務検定について・学習の進め方					
	3～14	通関関連法務			① 関税法及び関税定率法の主な法律を理解する		
	15～26	通関関連実務			② 輸出入申告の流れと関税制度について理解する		
	27～40	通関関連知識			③ 貿易用語を理解する		
	41～60	試験対策 答練模試			④ 貨物の流れを理解する		
					⑤ 書類の流れを理解する		
成績評価方法	平常点（30%）各授業終了後の理解度テスト結果（40%）試験対策答練模試結果（30%）						
使用テキスト ／教材	通関ビジネス実務 ベーシックマニュアル 初版 M H J 出版 オリジナルテキスト・「貿易実務の基礎」						
関連科目	ビジネス英語、国際ビジネス基礎						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	国際ビジネス応用						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	鍋田洋子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	60	4	
授業目的 到達目標	英語力に応じ、観光分野の語彙および表現を身に着け、それらを使って説明、案内、プレゼンします。また、観光英語検定2級または3級合格レベル相応の知識と英語力を身に着けることを目指し、英語の聴解力および会話力を向上させます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・レベル分け					
	3～10	国内地域案内（北海道・京都・湯布院・沖縄）をテーマに語彙の習得と表現のアウトプット			①観光関連語彙（観光英検2級または3級レベル）の習得		
	11～16	アジア・オセアニアの地域案内（シンガポール・バリ・シドニー）をテーマに語彙の習得と表現のアウトプット			②定型表現を使用し、観光に関連する様々な場面を想定したロールプレイができる		
	17～18	ハワイの地域案内をテーマに語彙の習得と表現のアウトプット			③観光分野に関する英語の知識を増やす		
	19～24	ヨーロッパの地域案内（ロンドン・フランス・ヨーロッパの美術館）をテーマに語彙の習得と表現のアウトプット			④3級レベル（30秒）2級レベル（1分）のミニプレゼンができる		
	25～32	北米・南米の地域案内（ニューヨーク・ボストン・カナダ・リオデジャネイロ）をテーマに語彙の習得と表現のアウトプット			⑤観光をテーマに4分のプレゼンができる		
	33～40	観光に関するプレゼンテーション作成と発表					
	41～56	英語表現の習得・観光英語分野の問題演習					
	57～60	実践アウトプット・ミニプレゼンテーション					
成績評価方法	平常点（30%）プレゼンテーション（30%）ミニプレゼン（10%） 科目修了試験結果（30%）						
使用テキスト ／教材	English for Tourism101 ーから学ぶ観光英語の基礎～日本から世界へ～ 講師作成プリント						
関連科目	ビジネス英語、国際ビジネス基礎、カスタマーサービス概論						
その他	各自毎時間PCを持参すること。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	TOEIC Speaking II						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	クックアンソニー						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course builds on TOEIC® Speaking I and further develops the speaking skills assessed in the TOEIC® Speaking Test. Students practice producing clear, well-organized responses and express opinions in everyday and workplace situations.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Course orientation and review of TOEIC(R) Speaking Test tasks			① Understand scoring criteria and test requirements. ② Read short texts aloud with clear pronunciation and rhythm. ③ Describe photographs with clear detailed description. ④ Respond to questions with extended relevant answers. ⑤ Provide reasons and examples to support responses. ⑥ Respond appropriately to written information. ⑦ Express opinions on familiar and workplace topics. ⑧ Organize responses logically. ⑨ Communicate ideas effectively. ⑩ Complete test tasks with improved fluency and confidence.		
	3~4	Review of Read-Aloud tasks: pronunciation, rhythm, and clarity					
	5~6	Picture Description: Giving detailed explanations					
	7~8	Picture Description: Adding details and structure					
	9~10	Responding to Questions: Extended answers					
	11~12	Responding to Questions: Giving reasons and examples					
	13~14	Unit 1-12: Review and Practice					
	15~16	Responding using Information Provided: Schedules and Notices					
	17~18	Responding using Information Provided: Cancellation and Rescheduling					
	19~20	Expressing opinions: Organizing Ideas Clearly					
	21~22	Expressing Opinions: Supporting Ideas and Examples					
	23~24	Unit 15-22: Review & Practice					
	25~26	Unit 1-12: Review & Practice					
27~28	TOEIC® Speaking Test Tasks 1						
29~30	TOEIC® Speaking Test Tasks 2						
成績評価方法	Effort & Participation (50%) Speaking Assessment Test (50%)						
使用テキスト ／教材	Teacher-created materials, practice tests, and TOEIC® Speaking preparation materials.						
関連科目	TOEIC Speaking I						
その他	Students are expected to participate actively in speaking practice. Students will take the TOEIC® Speaking Test at the end of the course.						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	English Media						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・演習	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course develops listening and communication skills through authentic English media. Students watch and analyze news reports, celebrity interviews, speeches, and movie clips. Through vocabulary activities, discussions, and short writing tasks, students become more familiar with natural pronunciation and real-world English communication.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="radio"/>	ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Course Orientation and Introduction to English media			① Understand the main ideas of short news reports. ② Identify key details from interviews. ③ Recognize natural pronunciation and rhythm in spoken English. ④ Understand vocabulary commonly used in media content. ⑤ Discuss media topics with classmates using simple English. ⑥ Express opinions about news or media content. ⑦ Write short reviews of media content. ⑧ Apply vocabulary learned in various situations. ⑨ Participate in pair discussions about media topics. ⑩ Improve listening comprehension through authentic materials.		
	3~4	News Report: Vocabulary, listening, discussion					
	5~6	Celebrity Interview: Vocabulary and listening practice					
	7~8	Speech: Listening for main ideas and key vocabulary					
	9~10	Movie clip: Understanding dialogue and expressions					
	11~12	News report: Comprehension and vocabulary activities					
	13~14	Celebrity interview: Discussion and speaking practice					
	15~16	Speech: Pronunciation and listening practice					
	17~18	Movie clip: Vocabulary and expressions					
	19~20	Writing activity: Short media review					
	21~22	Vocabulary Building activities and pair work					
	23~24	Situation Comedy: Full episode preview					
	25~26	Situation Comedy: Full episode review					
27~28	Documentary: Full episode preview						
29~30	Documentary: full episode review						
成績評価方法	Listening and Speaking activities (60%) Written assignments and reviews (40%)						
使用テキスト ／教材	Teacher-created materials, authentic media content (news reports, interviews, speeches, and movie clips), and vocabulary activities.						
関連科目	デジタルコミュニケーションⅡ						
その他	Students are expected to participate actively listening, speaking, and discussion.						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	Communicative English II						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	This course develops communication skills through the exploration of different countries and cultures. Each week students learn about a different country, including its culture, cuisine, famous places, and useful phrases in the local language. Through videos, listening activities, pair interviews, and short writing tasks, students practice communicating ideas about different countries and cultures in English.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="radio"/>	ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Course Orientation and Introduction to Global Cultures			① Identify basic facts about different countries and cultures. ② Understand key data regarding other countries, e.g. capital cities. ③ Discuss food, culture, and tourism using simple English. ④ Participate in pair interviews about cultural topics. ⑤ Ask and answer basic questions about countries. ⑥ Express opinions about travel and culture. ⑦ Recognize common phrases from different languages. ⑧ Write short responses about cultural topics. ⑨ Express preferences for foods and travel spots in other countries. ⑩ Communicate cultural information with increased confidence		
	3~6	Country Study 1: culture, cuisine, and tourism					
	7~10	Country study 2: culture, cuisine, and tourism					
	11~14	Country study 3: culture, cuisine, and tourism					
	15~18	Country study 4: culture, cuisine, and tourism					
	19~22	Country study 5: culture, cuisine, and tourism					
	23~26	Country study 6: culture, cuisine, and tourism					
	27~30	Country study 7: culture, cuisine, and tourism					
	31~34	Country study 8: culture, cuisine, and tourism					
	35~38	Country study 9: culture, cuisine, and tourism					
	39~42	Country study 10: culture, cuisine, and tourism					
	43~46	Country study 11: culture, cuisine, and tourism					
	47~50	Country study 12: culture, cuisine, and tourism					
	51~54	Country study 13: culture, cuisine, and tourism					
55~60	Review & final communication activities						
成績評価方法	Effort & Participation (50%) Final written test (50%)						
使用テキスト ／教材	Teacher-created materials, videos, cultural information, and vocabulary activities						
関連科目	Communicative English I						
その他	Students are expected to participate actively in discussions and pair activities related to global cultures.						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	Communicative English II						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	鍋田洋子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	幼児・児童英語教授法を理解し、実践するスキルを身につけます。フォニックスおよび音声学の学習を通じて発音を改善します。保育園の模擬授業にて幼児に英語を教え発話を引き出します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業	○	その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	授業説明・自己紹介・目的と目標について					
	4~6	幼児・児童英語教授の目的と言語学習プロセス			①児童英語教授法の目的が理解でき、目標の設定ができる		
	7~8	フォニックスと音声学			②フォニックスが理解できる		
	9~14	フラッシュカードについて			③音声学の学習を通じて英語発音を矯正できる		
	15~18	絵本・歌を用いた教授法について			④各教授法を理解し、実践できる		
	19~22	ゲーム・クラフトを用いた教授法について			⑤児童英語教授法を理解したレスンプランを作成できる		
	23~26	保育実習			⑥レスンプランに基づいた模擬授業ができる		
	27~28	ティーチャーズトーク・インタラクション・演技					
	29~34	デモレッスン					
	35~38	レスンプラン作成					
	39~44	教具作成					
	45~50	デモレッスン					
	51~54	保育園模擬授業					
55~56	模擬授業振り返り						
57~60	フォニックスと音声学・まとめ						
成績評価方法	平常点（10%）発表（20%）課題提出（20%）模擬授業（50%）						
使用テキスト ／教材	子どもとはじめる英語発音とフォニックス、講師作成プリント						
関連科目	TOEIC SPEAKING II Communicative English II English Reading						
その他	動きやすい服装・靴を着用のこと						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	比較文化研究Ⅱ						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解と異文化コミュニケーションの座学とグループワークや調査、プレゼン発表を通して、プレゼン発表能力を高めると同時に、様々な人々と協調し、異文化に対し、柔軟に対応出来る力を身に付ける						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・異文化理解への態度（ケーススタディ）					
	3～8	世界の文化・習慣・マナー・食文化のプレゼン			① 日本の常識にとらわれない素地を作る		
	9～12	見える文化と見えない文化（見えない文化ロープレ）			② 世界の文化・習慣・マナーなどを知る		
	11～12	自己開示・コンテキスト・パラ言語			③ 誤解されやすい文化をロールプレイングを通して体験し理解を深める		
	13～14	言語コミュニケーション（世界のほめ方・プレゼン作成）			④ 世界の褒め方・叱り方・謝り方を知りプレゼン発表出来る		
	15～16	言語コミュニケーション（世界の叱り方・プレゼン作成）			⑤ 世界の非言語コミュニケーションを知る		
	17～18	言語コミュニケーション（世界の謝り方・プレゼン作成）			⑥ 外国籍の方から直接その国の文化・風習などを聴講し、理解を深める		
	19～20	出前教室			⑦ コンテキスト・自己開示の大切さ・パラ言語を理解する		
	21～22	非言語コミュニケーション（アイコンタクト・プレゼン作成）			⑧ 世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについて		
	23～24	非言語コミュニケーション（ジェスチャー・プレゼン作成）					
	25～30	世界の言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションについてプレゼン発表					
成績評価方法	期末試験(40%) プレゼン発表(30%) 小テスト(20%) 平常点(10%)						
使用テキスト ／教材	異文化コミュニケーション(三修社)、講師作成プリント						
関連科目	比較文化研究Ⅰ、海外生活・文化研修、Mind Awareness						
その他	各自毎時間PCを持参する						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	Vocational English II						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	クックアンソニー						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	前期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course develops practical English skills for job applications and interviews. Students practice responding to common interview questions on topics such as personal background, hometown, education, work experience, and career goals. This course also introduces English resume writing and cover letters.						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	○	ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Course orientation and introduction to job interview communication					
	3~4	Interview questions: Personal Background			① Respond to common job interview questions clearly.		
	5~6	Interview questions: Hometown and Personal Interests			② Describe personal background and interests in English.		
	7~8	Interview questions: High School Experience			③ Explain educational experience and skills.		
	9~10	Interview questions: College Studies and Skills			④ Describe work experience or practical training.		
	11~12	Interview questions: Work Experience			⑤ Discuss customer service situations using simple English.		
	13~14	Interview questions: Customer Service Situations			⑥ Explain strengths and abilities relevant to employment.		
	15~16	Interview questions: Strengths and Abilities			⑦ Describe career goals and future plans.		
	17~18	Interview questions: Career Goals			⑧ Organize clear responses to interview questions.		
	19~20	Interview Questions Review Lesson			⑨ Write a basic English resume.		
	21~22	Resume Writing -Layout and Structure			⑩ Write a simple English cover letter.		
	23~24	Cover Letter Writing: Structure and Language					
	25~26	Cover Letter Writing Practice					
27~28	Mock Interview and Course Review						
29~30	Mock Interview and Course Review						
成績評価方法	Interview practice and speaking activities (60%) Resume and cover letter skills (40%)						
使用テキスト ／教材	Teacher-created materials, interview practice tasks, resume and cover letter templates						
関連科目	Vocational English I						
その他	Students are expected to participate actively in interview practice activities						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	English Reading						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	Anthnoy Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	This course develops reading skills through extensive reading activities. Students use graded English reading materials such as novels, biographies, and comics selected at CEFR levels, A1-B2. Students write a short review to demonstrate understanding and reflect on the content. Later, students practice reading English subtitles through video stories to strengthen reading speed and comprehension.						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔 ○	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク ○		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他 ○
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Course Orientation and Introduction to Extended Reading			① Read graded English texts appropriate to their level. ② Understand the main ideas of short English stories and texts. ③ Understand specific details in short English stories and texts. ④ Build vocabulary through extensive reading. ⑤ Read English texts with improved speed and comprehension. ⑥ Understand simple biographies, novels, and comics in English. ⑦ Write short reviews summarizing reading materials. ⑧ Understand English subtitles in video stories. ⑨ Discuss basic ideas from reading materials. ⑩ Develop confidence in reading English independently.		
	3~4	Graded Reader selection and reading practice					
	5~6	Independent Reading 1 and written review					
	7~8	Independent Reading 2 and written review					
	9~10	Independent Reading 3 and written review					
	11~12	Independent Reading 4 and written review					
	13~14	Independent Reading 5 and written review					
	15~16	Introduction to reading subtitles in video stories					
	17~18	Video story 1 with English subtitles: comprehension					
	19~20	Video story 2 reading and discussion					
	21~22	Video story 3 comprehension activities					
	23~24	Independent Reading 6 and written review					
	25~26	Independent Reading 7 and written review					
	27~28	Independent Reading 8 and written review					
29~30	Independent Reading 9 and written review						
成績評価方法	Reading Activities and Class Tasks (50%) Written English reviews (50%)						
使用テキスト ／教材	Graded Readers (CEFR A1-B2 levels,) (novels, biographies, comics) instructor-provided materials, and video stories with English subtitles.						
関連科目	Communicative English I						
その他	Students are expected to participate actively in discussions and pair activities related to global cultures.						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	プレゼンテーション						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	杉山和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・実技	2	後期	必修	30	1	
授業目的 到達目標	与えられたテーマに即した必要な情報収集・分析ができる力を身に付け、それらをもとにチームで英語でプレゼンテーションを構成し、効果的に発表できる力を身につける。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 ○	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク ○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション ○		PBL		模擬授業	その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	テーマ別プレゼンテーション 「世界の国」オリエンテーション			① 聞き手にとって印象的かつ、見やすく、かつ魅力的なスライドを作ることができる ② 聞き手の心に訴えるような内容をリサーチできる ③ 原稿を見ずに英語でプレゼンができる ④ 人の心を動かすような英語の話し方ができる		
	3~8	情報収集・リサーチ / スライド作成					
	9~12	プレゼンテーション練習・改善					
	13~16	テーマ別プレゼンテーション「世界の国」発表					
	17~18	課題解決型プレゼンテーション「SDGs」チーム決定					
	19~24	情報収集・リサーチ / スライド作成					
	25~28	プレゼンテーション練習・改善					
	29~30	課題解決型プレゼンテーション「SDGs」発表					
成績評価方法	練習用プレゼン（30%）本番用プレゼン（70%）						
使用テキスト ／教材	インターネット、新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどからの情報						
関連科目	比較文化研究Ⅱ						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	デジタルコミュニケーションⅡ						
学科・コース	グローバルビジネス科						
担当教員	山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	コンピュータ操作およびICTの基礎を発展させ、ビジネスの現場で活用できるデジタルコミュニケーションスキルとITリテラシーの向上を目指す。ITパスポート試験のテクノロジ系に加え、ストラテジ系およびマネジメント系の分野についても学習し、情報社会に必要な幅広いIT知識を体系的に習得する。問題演習やケーススタディを通して理解を深め、実務に活用できる基礎力の定着を図る。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業	○	調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	○	ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	企業活動			① コンピューターの基本的な仕組みを理解し、分かりやすく説明できる。 ② ネットワークやインターネットの基礎を理解し、日常やビジネスでの活用例を説明できる。 ③ 情報セキュリティの重要性を理解し、安全に情報を扱う行動ができる。 ④ データベースやAI・IoTなどの新しいIT技術について、基本的な内容を説明できる。 ⑤ 企業活動やマーケティングとITの関係を理解し、ビジネスでの活用例を考えることができる。 ⑥ システム開発やプロジェクト管理の基本的な流れを理解できる。 ⑦ ITサービスの運用や業務改善の考え方を理解し、その重要性を説明できる。 ⑧ ITパスポート試験の出題範囲を参考に、ITの基礎知識を整理し、問題を考えて選択できる。		
	3～4	マーケティング					
	5～6	法律					
	7～8	企業会計					
	9～10	技術開発戦略・システム戦略					
	11～12	システム企画					
	13～14	システム開発					
	15～16	ハードウェア・ソフトウェア					
	17～18	ネットワーク・コンピュータとデジタル情報					
	19～20	プログラムとアルゴリズム					
	21～22	コンピュータシステム・情報セキュリティ					
	23～24	データサイエンス					
	25～30	まとめ・問題演習/解説					
成績評価方法	科目修了試験結果（50%）授業内小テスト結果（30%）平常点（20%）						
使用テキスト／教材	「ITパスポート超効率の教科書」						
関連科目	デジタルコミュニケーションⅠ						
その他							